

特定非営利活動法人

日本プロフェッショナルエンジニア協会

第 16 回通常総会

2016 年 6 月 4 日

議案

第 1 号議案 2015 年度活動報告、及び
決算報告の件

第 2 号議案 一部役員交代の件

第 3 号議案 2016 年度活動計画案、及び
予算案の件

第1号議案 2015年度活動報告

2015年度 活動報告

自 2015年4月1日 至 2016年3月31日

2015年度は、過去2年の間に整備した運営上の各種ツール(見やすいウェブサイト、セミナーウェブ配信、シラバス評価支援サービス、メンタリング制度、協力団体制度ほか)を活かし、「プロフェッショナルエンジニアの見える化 - 見つける、伝える、広げる」を方針に掲げた諸活動を展開した。

これら諸活動は次ページの活動表および別途配布する事業報告書に詳しく記しているが、1000時間を超えるPDHを3年連続で会員および非会員に供給、タイムリーなメール情報配信、鬼金セミナーの東京・神戸スカイプ接続運営定着、JSPE マガジン誌面の刷新、最新FE試験参考書解説の会員向け発行など多くの成果を挙げることができた。これらは、各担当理事および部会員が私的な時間を当会運営のために割いてくれたためであり、この時間数は今年度から活動計算書中に計上することとした「ボランティア評価費用/受入評価益」に現れている。

また、これら日常活動の合間を縫って、シアトル NSPE 総会、京都世界工学会議(WECC2015)およびNSPE が全米で展開した DiscoverE において当会活動を対外アピールするとともに、技術者教育課程認証を通じて世界各国との技術者制度国際協調化を推進している JABEE との間で協力関係覚書(MOU)を締結した。

今年は米国 PE 試験が日本の受験者に開放されるようになって20周年という節目の年であるが、2014年のCBT化に伴うFE受験者の一時的な減少、シラバス評価等の面で米州PE登録手続きが依然として難渋、および国内でPE資格を活用する機会が伸び悩んでいるという3つの課題が認識されている。

2015年度は、会員情報・会費納入状況の管理整流化にも取り組み、過去2年間増え続けた未収金(未納会費)を減らすことができたが、FE会員を中心に退会者も相次ぎ会員数は約1割減少した。また、運用しているオンライン会員システムの機能上の制約から会員情報管理を担当する理事の事務負担が過重となり、予定していたPEハンドブック改定などの事業を先送りせざるを得なかった。

このように、複数の新たな課題を見据えることとなった一年であったが、協力関係にある米国 NSPE がエンジニアの社会貢献を粘り強く訴え続けている姿をシアトルで目の当たりにしたこと、および地球規模の課題に実務的な解決を与えるのはエンジニア以外にないということを京都の世界工学会議で再認識したことは、今後も当会が活動を継続していく上での有用な知見となった。

当会活動に対し有形無形の支援を寄せて下さっている会員、協力団体その他の皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。

【用語】

PDH : Professional Development Hour 継続専門的教育を受けた結果として獲得する時間単位

NSPE : National Society of Professional Engineers 全米プロフェッショナルエンジニア協会

DiscoverE : 毎年2月第3週に全米で展開されるエンジニアの社会貢献をアピールする行事

PE : Professional Engineer 米国の専門職技術者ライセンス

FE 試験 : Fundamental of Engineering PE ライセンス取得のための基礎能力を確認する一次試験

JABEE : 一般社団法人 日本技術者教育認定機構

CBT : Computer based Test コンピュータテスト

第1号議案 2015年度活動報告(実施行事一覧(1/2))

年月日	行事名	実施場所	時間	参加者数	供給PDH
CPD セミナー					
2015/4/11	#266 セミナー「地上の太陽 核融合実験炉 ITER」	東京/神戸	1.5	27	40.5
2015/4/11	鬼金 2015 コース説明	神戸/東京	1.0	20	
2015/4/21	JCOAL 講演会「米国 PE 資格及び英国 CE 資格について」	東京	2.0	1	
2015/5/9	#267 セミナー鬼金 2015#1 技術標準策定とPM	神戸/東京	3.0	27	81
2015/6/6	総会特別セミナー 我が国のエンジニア育成の現状と課題	東京	1.5	41	61.5
2015/6/20	#268 セミナー鬼金 2015#2 設備試運転とPM	神戸/東京	3.0	28	84
2015/7/4	#269 セミナー鬼金 2015#3 グローバルセールス PMOとPM	東京/神戸	3.0	18	54
2015/8/1	#270 回セミナー 新たな脱塩プロセスの可能性	神戸/東京	3.0	12	36
2015/9/5	#271 セミナー鬼金 2015#4 北米鉄道車両製造とPM	神戸/東京	3.0	31	93
2015/9/26	#272 セミナー(#2 JSPE Day) NSPEとJSPE、損害保険会社のリスクモデル、回転機械設計のリスク、メキシコ湾事故と化学プラント事故	東京/神戸	4.5	45	202.5
2015/10/3	#273 セミナー鬼金 2015#5 エネルギー技術開発とPM	神戸/東京	3.0	16	48
2015/11/7	#274 セミナー鬼金 2015#6 海外工場建設とPM	神戸/東京	3.0	21	63
2015/11/28	#275 セミナー 新しいカーボンサイクルの創出と微生物を活用したバイオ技術	京都	2.5	12	30
2015/12/5	#276 セミナー 上手い！英語プレゼンテーションへのヒント	東京	2.5	19	47.5
2016/1/23	#277 セミナー鬼金 2015#7 R&DにおけるPM	神戸/東京	3.0	21	63
2016/1/30	#278 セミナー 未利用エネルギー、再生エネルギーの活用と都市における水素利用について	東京/神戸	2.5	27	67.5
2016/2/13	#279 セミナー鬼金 2015#8 インフラ建設とPM	神戸/東京	3.0	21	63
エンジニアズサロン					
2015/6/24	#1 サロン 技術者倫理との向き合い方を考える	東京	1.0	8	8
2015/10/14	#2 サロン :温暖化対策技術～緩和、適応、気候工学	東京	1.0	8	8
2015/12/2	#3 サロン:フォルクスワーゲン排ガス不正問題の論点整理とディスカッション	東京	1.0	5	5
2016/1/20	#4 サロン(Ⅰ):原子力発電所の福島事故対策	東京	1.0	12	12
2016/2/24	#4 サロン(Ⅱ):原子力発電所の福島事故対策	東京	1.0	6	6
2015/3/16	#5 サロン : CO2 大幅削減に向けたエネルギービジョンと原子力	東京	1.0	9	9
合計			51.0	435.0	1082.5

第1号議案 2015年度活動報告(実施行事一覧(2/2)および会員数推移)

年月日	行事名	実施場所	参加者数
PE 制度説明会等			
2015/4/17	三重大学機械工学科特別講義 (FE 受験講座)	三重大学	53 ※1
2015/5/16	東京 PE 受験・登録セミナー	東京	15
2015/11/1	神戸 PE 受験・登録相談会	神戸	4
2016/3/19	東京 PE/FE 受験・登録相談会	東京	23
会員交流等			
2014/7/15 - 19	NSPE2015 Annual Meeting に代表派遣(開催地:シアトル)	米国	3 ※2
2015/11/28	関西イヤーエンドパーティ	京都	19
2015/12/1 - 3	世界工学会議(WECC) 2015 に代表派遣	京都	1 ※2
2015/12/5	東京イヤーエンドパーティ	東京	27
2015/12/19	中部技術士倫理研究会に代表派遣	愛知	3 ※2
出版、ウェブを介した情報提供等			
2015/4/1	JSPE マガジン春号 配信(会員限定)		
2015/7/1	JSPE マガジン夏号 配信(会員限定)		
2015/10/1	JSPE マガジン秋号 配信(会員限定)		
2016/1/1	JSPE マガジン冬号 配信(会員限定)		
理事会			
2015/5/16	5 月度理事会	東京/スカイ°	15
2015/7/25	7 月度理事会	東京/スカイ°	11
2015/9/19	9 月度理事会	東京/スカイ°	11
2015/11/21	11 月度理事会	東京/スカイ°	12
2016/1/16	1 月度理事会	東京/スカイ°	13
2016/3/19	3 月度理事会	東京/スカイ°	13

※1 聴講者数 ※2 派遣者数

2015 年度 会員数推移

会員種別	2015 年 3 月 31 日現在	2015 年度中推移			2016 年 3 月 31 日現在
		入会者	種別変更者※	退会者	
正(PE)会員	170	2	13	12	173
準(PEN)会員	74	10	3	11	65
準(FE)会員	109	3	0	23	84
準(AF)会員	26	5	0	10	21
準(ST)会員	4	2	0	4	2
合計	383	22	16	60	345

※ 種別変更とは、会員が FE から PEN に、あるいは PEN から PE に昇格した場合等を指す。

第1号議案 2015年度決算報告（活動計算書）

自2015年4月1日 至 2016年3月31日

単位：円

	2015年度予算	2015年度決算	備考
I. 経常収益			
1. 受取会費			
入会金	150,000	66,000	入会 22件
正会員受取会費	1,980,000	1,907,500	正会員年会費納入 164件
準会員受取会費	1,590,000	1,394,250	準会員年会費納入 147件
2. 受取寄付金			
ボランティア受入評価益	0	1,655,710	役員勤務時間を金額換算し計上
3. 事業収益			
研修教育事業収益	1,127,500	959,500	CPDセミナー参加費等
調査研究事業収益	530,000	129,000	PE登録相談会参加費等
機関誌発行事業収益	0	3,000	PEハンドブック販売分
4. その他収益			
受取利息	0	6,965	預金口座利息
I. 経常収益計	5,377,500	6,121,925	
II. 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費	0	0	
(2) その他経費			
会議費	948,000	873,402	CPDセミナー会場費等
諸謝金	611,400	439,348	CPDセミナー等講師謝金
諸会費	180,000	183,493	PMI REP年間登録費
旅費交通費	705,000	539,362	NSPE総会、CPDセミナー等出張費
通信運搬費	0	105,554	CPDセミナー時無線通信費用等
印刷製本費	300,000	277,419	事業報告書印刷製本費
消耗品費	234,000	18,147	CPDセミナー資料コピー代等
支払手数料	0	4,158	
雑費	0	94,247	会員交流行事における景品等
15周年記念事業費	1,000,000	178,770	WECC京都参加費、FE参考書費等
1. 事業費計	3,978,400	2,713,900	
2. 管理費			
(1) 人件費			
ボランティア評価費用	0	1,655,710	役員勤務時間を金額換算し計上
(2) その他経費			
業務委託費	730,000	575,640	事務局・ウェブサイト維持業務委託
旅費交通費	170,000	91,837	役員の理事会出張費
通信運搬費	240,000	293,026	ウェブサーバー維持利用料
印刷製本費	25,000	0	
消耗品費	165,000	42,931	役員名刺、会封筒等
賃借料	350,000	315,000	溜池事務所賃料負担
新聞図書費	0	600	
保険料	7,000	4,800	役員ボランティア保険
支払手数料	30,000	10,908	
貸倒損失	0	370,710	退会者未納会費の損金処理
雑費	200,000	3,188	
(2) その他経費計	1,917,000	1,708,640	
2. 管理費計	1,917,000	3,364,350	
II. 経常費用計	5,895,400	6,078,250	
(A) 当期正味財産増減額 = I - II	△ 517,900	55,675	
(B) 前期繰越正味財産額	6,950,022	6,950,022	
(C) 次期繰越正味財産額 = (A) + (B)	6,432,122	7,005,697	

第1号議案 2015年度決算報告（貸借対照表）

貸借対照表

日本プロフェッショナルエンジニア協会
全事業所

[税込] (単位:円)
平成28年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		その他未払金	43,200
三菱東京UFJ銀行虎ノ門支店普通	282,125	会員年会費前納額	154,750
ゆうちょ銀行普通口座(10190-398131-1)	16,043	理事/会員立替金未払い額	497,324
ゆうちょ銀行振替口座(新)(00190-6-449293)	3,671,156	預り金	5,284
ゆうちょ銀行振替口座(旧)(00120-3-562335)	158,212	流動負債計	700,558
現金・預金計	4,127,536	負債の部合計	700,558
(未収金)		正 味 財 産 の 部	
未納年会費繰越未収額	328,500	【正味財産】	
理事預かり金未収額	57,762	前期繰越正味財産額	6,950,022
その他未収	72,001	当期正味財産増減額	55,675
(未収金) 合計	458,263	正味財産計	7,005,697
(棚卸資産)		正味財産の部合計	7,005,697
郵便切手	2,880		
(棚卸資産) 合計	2,880		
流動資産合計	4,588,679		
【固定資産】			
(無形固定資産)			
基盤整備積立金	3,117,576		
無形固定資産計	3,117,576		
固定資産合計	3,117,576		
資産の部合計	7,706,255	負債・正味財産の部合計	7,706,255

第1号議案 2014年度決算報告（財務諸表の注記）

財務諸表の注記

日本プロフェッショナルエンジニア協会

平成28年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は、減価基準により評価方法は総平均法によっています。

(2). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

[税込] (単位：円)

科目	研修教育事業	調査研究事業	機関誌発行事業	合計
(人件費)				
人件費計	0	0	0	0
(その他経費)				
会議費	171,344	702,058		873,402
諸謝金	365,850	73,498		439,348
諸会費	183,493			183,493
旅費交通費	98,350	441,012		539,362
通信運搬費	77,485	2,389	25,680	105,554
印刷製本費	15,115	8,314	253,990	277,419
消耗品費	13,977	617	3,553	18,147
支払手数料	2,646	1,080	432	4,158
雑費	12,198	82,049		94,247
15周年記念事業費		178,770		178,770
その他経費計	940,458	1,489,787	283,655	2,713,900
合計	940,458	1,489,787	283,655	2,713,900

【固定資産の増減内訳】

固定資産の増減は以下の通りです。

なお、基盤整備積立金は次のようちよ定額預金（受取時利子額含）の総額です。

担保定額預金口座：10190-398131-1

定額預金口座：50520-1253892-01

定額預金口座：50520-1253892-02

[税込] (単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
基盤整備積立金	3,110,681	6,895		3,117,576		3,117,576
合計	3,110,681	6,895		3,117,576		3,117,576

【役員及びその近親者との取引の内容】

役員及びその近親者との取引はありません。

役員が本会運営のために活動した時間に相当する額をボランティア評価費用として計上し、同額を寄付（ボランティア受入評価益）として計上しています。

ボランティア評価額は東京都の最低賃金（*1）と役務提供時間により算出しています。

なお、講師担当者には役員・非役員に関わらず講師報酬を支払います。

(単位：hr) (単位：円)

ボランティア役務提供者	活動時間	評価額
監事合計	41.0	36,692
理事合計	1,806.3	1,619,018
合計	1,847.3	1,655,710

*1：2015年4月1日～2015年9月31日 888円/時間、2015年10月1日～2016年3月31日 907円/時間

第1号議案 2015年度決算報告（財産目録）

財 産 目 録

日本プロフェッショナルエンジニア協会
全事業所

[税込] (単位: 円)
平成28年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
三菱東京UFJ銀行虎ノ門支店普通	282,125		
ゆうちょ銀行普通口座(10190-398131-1)	16,043		
ゆうちょ銀行振替口座(新)(00190-6-449293)	3,671,156		
ゆうちょ銀行振替口座(旧)(00120-3-562335)	158,212		
現金・預金 計	4,127,536		
(未収金)			
未納年会費繰越未収額	328,500		
理事預かり金未収額	57,762		
その他未収	72,001		
(未収金) 合計	458,263		
(棚卸資産)			
郵便切手	2,880		
(棚卸資産) 合計	2,880		
流動資産合計			4,588,679
【固定資産】			
(無形固定資産)			
基盤整備積立金	3,117,576		
無形固定資産 計	3,117,576		
固定資産合計			3,117,576
資産の部 合計			<u>7,706,255</u>
		《負債の部》	
【流動負債】			
その他未払金	43,200		
会員年会費前納額	154,750		
理事/会員立替金未払い額	497,324		
預り金	5,284		
流動負債 計	700,558		
負債の部 合計			<u>700,558</u>
正味財産			<u>7,005,697</u>

第1号議案 2015年度決算報告（比較貸借対照表）

法人名：日本プロフェッショナルエンジニア協会

比較貸借対照表(補足資料)

2016年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	2,457,093	2,729,316	3,310,904	4,127,536
仮払金	0	0	0	0
未収金	546,753	842,216	1,043,751	458,263
貯蔵品	79,677	7,680	2,880	2,880
流動資産合計	3,083,523	3,579,212	4,357,535	4,588,679
2. 固定資産				
(1)特定固定資産				
基盤整備積立金	3,098,719	3,106,011	3,110,681	3,117,576
(2)その他固定資産				
什器備品	39,300	0	0	0
図書	248,221	0	0	0
電話加入権	32,340	0	0	0
固定資産合計	3,418,580	3,106,011	3,110,681	3,117,576
資産合計 (A)	6,502,103	6,685,223	7,468,216	7,706,255
II 負債の部				
1. 流動負債				
前受金	224,000	139,750	158,500	154,750
未払金	764,223	408,520	359,694	540,524
預り金	1,706	4,264	4,264	5,284
流動負債合計	989,929	552,534	522,458	700,558
2. 固定負債				
固定負債合計	0	0	0	0
負債合計 (B)	989,929	552,534	522,458	700,558
III 正味財産の部				
前期繰越正味財産 (D)	5,216,480	5,512,174	6,132,689	6,945,758
当期正味財産増減額 (C) -(D)	295,694	620,515	813,069	59,939
正味財産合計 (A)-(B) = (C)	5,512,174	6,132,689	6,945,758	7,005,697
負債及び正味財産合計 (B) + (C)	6,502,103	6,685,223	7,468,216	7,706,255

第1号議案 2015年度決算報告（監査報告書）

以下の通りご報告申し上げます。

平成28年 4月23日

会長 川村 武也 

監 査 報 告 書

日本プロフェッショナルエンジニア協会監事は、同法人の平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の事業報告に関して、理事の執務執行状況および法人の財産状況について監査を実施しました。

その結果、同法人の活動計算書、貸借対照表、財産目録並びに比較貸借対照表は適正と認めます。

平成28年 4月23日

監事 竹政 一夫 

監事 植村 大輔 

第2号議案 一部役員交代の件

定款第 14 条に従い、下記一部役員交代の承認をお願いします。

退任

役職	氏名	会員番号	所属部会等
理事	西川 理 Makoto Nishikawa	PE-0084	自己都合退任

新任（任期:2016 年度中）

役職	氏名	会員番号	所属部会等
理事	出家 克則 Katsunori Deie	PE-0225	広報部会
理事	三野 史朗 Shiro Mitsuno	PE-0245	渉外部会

【参考】2016 年度 役員構成 案

部会	担当役員	分会（●分会長）
事務局	川村 武也（会長、事務局長） 阪井 敦（副会長：会長第 1 代行） 柴山 美香（副会長：会長第 2 代行） 横山 佳生（副事務局長） 渋谷 高広（副事務局長）	【ウェブマスター】 ●柴山 美香、横山 佳生、渋谷 高広、 森口 智規、小口 力、川村 武也 橋口 文子（事務局員）
企画部会	阪井 敦（企画部会長） 森山 亮（企画副部会長）	【鬼金分会】 ●阪井 敦、森山 亮、鈴木 央、森口 智規、川村 武也、ほか分会員数名
広報部会	柴山 美香（広報部会長） 出家 克則（広報副部会長）	【マガジン編集分会】 ●出家 克則、柴山 美香、阪井 敦、鈴 木 央、森口 智規、ほか分会員数名
渉外部会	横山 佳生（渉外部会長） 三野 史朗（渉外副部会長）	-
教育部会	森山 亮（教育部会長） 山浦 良久（教育副部会長）	【セミナー分会】 ●森山 亮、山浦 良久、阪井 敦、渋谷 高広、ほか分会員数名
会員部会	森口 智規（会員部会長） 小口 力（会員副部会長） 鈴木 央（会員副部会長）	【メンター分会】 ●森口 智規、鈴木 央、小口 力、川村 武也、阪井 敦、植村 大輔、ほか分会 員数名 【シラバス分会】 ●小口 力、森口 智規、渋谷高広、寺 田 誠二、ほか分会員数名
会計部会	渋谷 高広（会計部会長） 阪井 敦（会計副部会長）	-
特命事項担当	峯松 史明、寺田 誠二、村瀬 義昭	-
監事	竹政 一夫、植村 大輔	-

第3号議案 2016年度 活動計画案

2016年度 活動計画案

自 2016年4月01日 至 2017年3月31日

2016年度は、昨年度までに整備された各種運営ツール(見易いウェブサイト、セミナーウェブ配信、シラバス評価支援サービス、メンタリング制度、NSPE および JABEE との協力関係など)を活かしつつ、昨年度認識された諸課題(PE 資格活用機会発掘、PE 登録者増加、会員情報管理整流化)に対応することも考慮して、次の方針と展望の下、活動を展開したい。

プロフェッショナルエンジニアの見える化 (継続) Uncloaking of Professional Engineer (ongoing)

技術分野の細分化や資格手続きの複雑化等、見えづらい存在と言われることも少なくないプロフェッショナルエンジニアの姿をより多くの個人・団体に知って頂くようにする。

具体的には次の3種の展望(Vision)を常に意識しながら、各種会合の開催と会員/非会員からの諸相談対応を行っていきたい。

- 個々のエンジニアの見える化 Uncloaking of engineering individual
近日ウェブサイト公開予定の「私たちがPEになった理由」(仮称)を参照しつつ、社会の様々な部分でエンジニアが貢献していること、また求められていることを明らかにしていく。その中で米国 PE 資格が有用であることを再認識する。
【主たる担当】 広報部会(マガジン分会)、教育部会(セミナー分会)、会員部会(メンター分会)
- エンジニア関連制度や規格の見える化 Uncloaking of engineering regulations and standards
エンジニアを必要とする社会の様々な場面で、障害となっているかもしれない制度や規格の問題に焦点をあてて意見交換を行い、会としての見解形成を模索していく。その中で米国 PE 資格の活用方法も探っていく。
【主たる担当】 企画部会(鬼金分会)、会員部会(シラバス分会)
- 日常業務におけるエンジニアの貢献の発見 Discovering engineering devotion in daily business
会員や非会員から寄せられる各種相談への対応や、協力関係にある各団体との情報交換、行事相互乗り入れを通じて、日常的な業務においてエンジニアが活躍・貢献している事例を収集し、上記2つの活動へ反映していく。
【主たる担当】 事務局(ウェブマスター)、渉外部会、特命事項担当

また、以上の諸活動を効率的かつ効果的に展開できるよう、次の基盤整備業務を実施したい。

- ウェブサイトの一部スマートフォン等対応再構築
- 過去のCPD教育内容の整理公開(著作権等上問題のないもの)
- 遠隔地居住会員の活動支援
- オンライン会員システムの見直しを含めた、会員会費管理業務の整流化 (p14参照)

今年度も会員諸氏のご理解、ご協力およびご参画をお願いしたい。

第3号議案 2016年度 活動計画案（年間行事予定）

（現時点で日程がほぼ確定しているもののみ。その他、PE登録相談会等を随時開催予定）

月	予定行事	備考
2016年		
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・JSPE マガジン春号 配信 ・三重大学向け FE 試験紹介講座 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・5月度理事会 ・東京エンジニアズサロン 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・年次総会 / 特別 CPD セミナー / 懇親会 ・JABEE との共催シンポジウム ・NSPE ダラス年次総会に参加 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・JSPE マガジン夏号 配信 ・東京/神戸 鬼金 CPD セミナー ・7月度理事会 ・東京エンジニアズサロン 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・東京/神戸 技術 CPD セミナー 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・東京/神戸 鬼金 CPD セミナー ・9月度理事会 ・東京/神戸 JSPE Day (CPD セミナー祭り) ・東京エンジニアズサロン 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・JSPE マガジン秋号 配信 ・東京/神戸 鬼金 CPD セミナー ・東京エンジニアズサロン 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・東京/神戸 鬼金 CPD セミナー ・11月度理事会 ・東京エンジニアズサロン 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・東京/神戸 技術 CPD セミナー ・東京/神戸 鬼金 CPD セミナー ・東京イヤーエンドパーティ ・神戸イヤーエンドパーティ 	
2017年		
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・JSPE マガジン冬号 配信 ・1月度理事会 ・東京/神戸 技術 CPD セミナー 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・東京エンジニアズサロン 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・3月度理事会 	

第3号議案 2016年度 活動予算案

自 2016 年 4 月 1 日 至 2017 年 3 月 31 日

単位:円

	2015年度決算	2016年度予算
I. 経常収益		
1. 受取会費		
入会金	66,000	90,000
正会員受取会費	1,907,500	1,980,000
準会員受取会費	1,394,250	1,410,000
2. 受取寄付金		
ボランティア受入評価益	1,655,710	1,500,000
3. 事業収益		
研修教育事業収益	959,500	835,000
調査研究事業収益	129,000	610,000
機関誌発行事業収益	3,000	0
4. その他収益		
受取利息	6,965	0
I. 経常収益 計	6,121,925	6,425,000
II. 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費	0	0
(2) その他経費		
会議費	873,402	1,077,000
諸謝金	439,348	721,400
諸会費	183,493	180,000
旅費交通費	539,362	805,000
通信運搬費	105,554	139,000
印刷製本費	277,419	380,000
消耗品費	18,147	70,000
支払手数料	4,158	0
雑費	94,247	20,000
15周年記念事業費	178,770	0
1. 事業費 計	2,713,900	3,392,400
2. 管理費		
(1) 人件費		
ボランティア評価費用	1,655,710	1,500,000
(2) その他経費		
会議費	0	0
業務委託費	575,640	520,000
旅費交通費	91,837	150,000
通信運搬費	293,026	245,000
印刷製本費	0	15,000
消耗品費	42,931	140,000
賃借料	315,000	315,000
新聞図書費	600	0
保険料	4,800	5,100
支払手数料	10,908	20,000
貸倒損失	370,710	100,000
雑費	3,188	0
(2) その他経費計	1,708,640	1,510,100
2. 管理費 計	3,364,350	3,010,100
II. 経常費用 計	6,078,250	6,402,500
(A) 当期正味財産増減額 = I - II	55,675	22,500
(B) 前期繰越正味財産額	6,950,022	7,005,697
(C) 次期繰越正味財産額 = (A) + (B)	7,005,697	7,028,197

第3号議案 2016年度 活動予算案（会員情報等管理業務の合理化）

会員情報および会費納入状況の管理は、2008年度以来稼働しているオンライン会員管理システム（以降、会員DBと略）に会員が入力する情報を起点として、会員部会、会計部会、および広報部会の各担当理事がそれぞれ会員管理、会費管理、メール配信管理のファイルを抽出して行っている。

しかし、各情報が会員DBに一元化できていないことから、転記ミス等を防ぐための事後照合作業等が担当理事の大きな負担となっており合理化が急務である。

一方、当会の現金資産は2015年度末時点で約650万円に達しており、この一部を上記業務合理化に振り向けることは、当会が会員数増加に向けた諸活動を今一度活性化する上で必要であり妥当であると考ええる。

こうしたことより、前ページに示した経常活動予算に加えて以下の投資活動を実施したい。

1. 会員情報等管理業務の合理化を目的とした次の選択肢を比較検討する（目標：8月末まで）
 - 1) 現行会員DBの機能向上改造（JSPE独自システムの再構築）
 - 2) 市販会員管理アプリケーションの導入（Filemaker等DBソフト応用）
 - 3) 事務局代行会社の起用
 - 4) その他
2. 上記の中から費用対効果も踏まえて最適な選択肢を選定し、新しい会員情報等管理ツールを構築する（目標：12月末まで）
3. 構築した新管理ツールを試行を経て本運用する（目標：3月末まで）
4. 以上の投資活動に投入する金額は200万円を上限とする
（理由：当会の年度余剰金は平均約40万円である。新管理ツールを固定資産として計上した場合、以後5年間にわたり減価償却することになるため、毎年の経常収支を均衡させるためには、投資金額を40万円×5年=200万円に抑える必要があるため）